

2022
2・21 月4回
月曜日発行
第1234号

週刊ビル経営

発行所 株式会社ビル経営研究所
〒104-0061
東京都中央区銀座7-17-12 2F
TEL 03(3543)7421
FAX 03(3543)5839
発行人 垂澤清三
年間購読料 30,000円(税込)
KAMEOKA NEWS AGENCY CORPS
亀岡大郎取材班グループ

ソコに学ぶ ビル経営



イーソーコ総合研究所
代表取締役 出村 亜希子
奈良女子大学大学院修了後CM
会社を経て現職。一級建築士、
宅建士。「倉庫ドクター」とし
て建築面からオーナー支援に取
り組む。

ネットのをまたゼロから取り
込んでいくのはかなり
大きな労力を要するもので
すなわち
事業の可
能性で
す。例え
ば不動産
のみを事
業ドメイ
ンとする
人は不動
産業界の
なかだけ
でビジネス
を駆使して異なる業界
業務を再編・標準化し
て、世の中を大きく革
新していく可能性を秘
めています。若いうち
に始めたほうが覚える
のも早いという点は、
語学の勉強とも似てい
ます。最近、不動産業
・物流業のオーナー様
から次世代の教育を依
頼されることが増えた
のも、若い時期からの
英才教育を期待されて
いるのかもかもしれません。

物流不動産ビジネス スネットワークを構築
における経営力や仕事 していくこととなり、
力は、人間関係構築、 それだけ事業拡張の可
人財育成など、 能性が制限されて
詰まるどころ しまいます。文化
「人」に行きつ 異なるさまさま
きます。

第45回「物流は、パイリンガルを目指す気持ちで」

ディフェンス
の「物流」とオ
フェンスの「不
動産」ではプレ
イヤーの文化や
価値観が異なり、相容れない
部分も多くあり
ます。当社で育
成する物流不動
産ユーザーは
イープレイヤー
はジョブローテ
ーションを通し
て、互いに文化
の異なる物流も
不動産も、その
他の関連分野も
経験していくこ
とで、各業界固
有の文化・価値
観を理解するよ
うになります。
互いにリスベク
トし合い、共通
言語でかみ合った仕事
の話ができるようにな
ります。

社会人経験が長
くなる、「不動
産営業をしてい
る人は物流現場を好
まない」、「物流
は一朝一夕には手に入
らない無二のもので尊
厳なものであること
でしよ
う。まずはひとつ、パ
イリンガルを目指す気
持ちで、物流に触れて
みませんか。